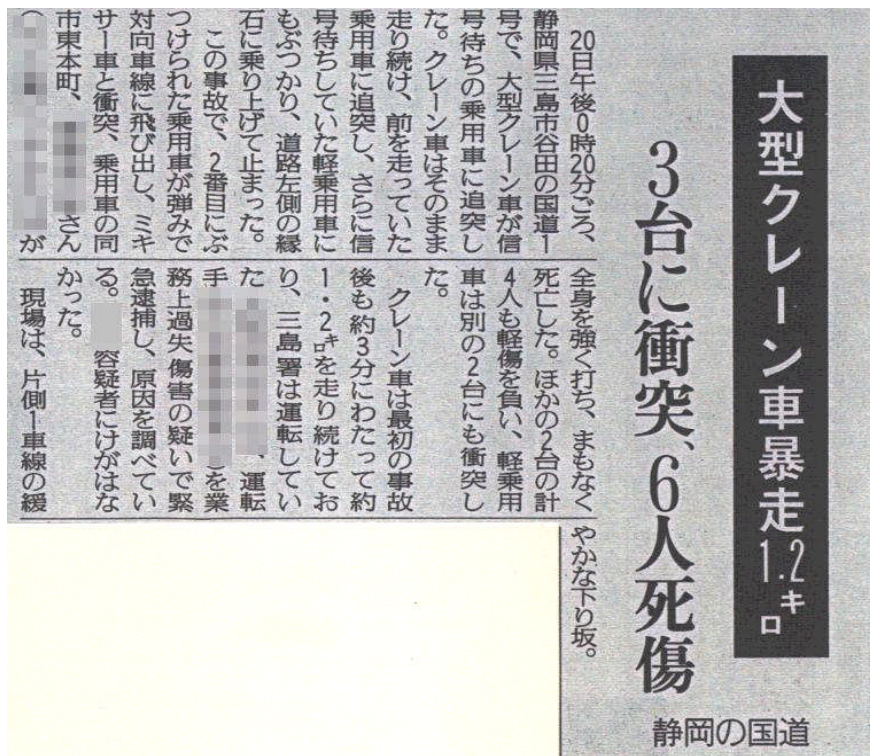


日本では「台風14号」、アメリカでは「ハリケーン カリーナ」が各地域で甚大な被害をもたらし、今更ながら台風(ハリケーン)の怖さを再確認しました。各地で被害にあわれた方に心からお見舞い申し上げます。さて今回ご紹介するお話は、8月21日の読売新聞に掲載された交通事故についてお話したいと思います。どうやら事故原因は、先月VOL.63でご紹介したブレーキの故障に起因しているようです。2作連続同じようなお話になると思いますが、最後までお付き合いください。

VOL.64 走行用ブレーキの話(2)



左の記事を読んでいただければお分かりになると思いますが、大型クレーンが信号待ちしていた乗用車に止まりきれずに追突し、死亡事故を起こし、更に事故後約3分間1.2kmにわたりは走行してしまったと書いてあります。後日この事故に関してインターネットで調べたところ、運転者の方は「ブレーキが利かなくなった!」と話しており、「三島署はブレーキのフェード現象が起きた可能性もあるとみて、事故原因を調べている」と報じられています。現在、事故原因を調べていますが、正確な事故原因は分かっていません。しかし事故の起きた状況から、先月ご紹介したブレーキの「フェード現象」及び「ベーパーロック現象」が発生したのではないかと、私自身も思います。ブレーキについてご紹介したばかりなのに、大型クレーンがブレーキに関する故障で重大な死亡交通事故を起こしてしまったとすれば、とても残念でなりません。

1.ブレーキのフェード現象とベーパーロック現象

- フェード現象 ⇨ 連続したブレーキングなどにより、ブレーキパッド・ライニングの摩擦面に熱変化が起き、摩擦力が低下する現象
- ベーパーロック現象 ⇨ ブレーキオイルに吸収された水分が熱により気化し、ブレーキを踏んでも気体が圧縮されブレーキが利かなくなる現象

2.注意事項

* ブレーキパッド及びブレーキライニングの残量の点検

ブレーキパッドの残量が無くなり、ブレーキオイルが漏れ出しブレーキが利かなくなった故障事例もあります。日常の点検は必ず行い、摩耗している場合は早目に国際サービスに連絡してください。

* ブレーキオイルの定期交換(1年毎)

ブレーキオイルは、ブレーキホースなどから空気中の水分を吸収し劣化します。劣化したブレーキオイルの沸点は低下し、ベーパーロック現象が発生しやすくなります。是非1年に1度の交換をお願いします。

* ブレーキホースの定期交換(車検時毎)

最近ユーザー車検などを行い、未点検・未整備で車検を受検されるお客様がいらっしゃいます。重大な事故が起きる前に、十分な点検とブレーキホースの定期交換を行うことをお勧めします。

* 補助ブレーキの使用(排気ブレーキ及びリターダーブレーキの使用)

まさか排気ブレーキやリターダーブレーキを使用しないで運転されているオペレーターの方はいらっしゃらないと思います。車輛重量のあるクレーン車はフットブレーキだけの制動ですとオーバースペックになりやすい車輛です。くれぐれも排気ブレーキやリターダーブレーキを使用して運転してください。

* 制限速度を越えた運転の禁止

ブレーキ装置とは運動エネルギーを熱エネルギーに変換する装置です。速度が増えれば運動エネルギーも当然増え、変換された熱エネルギーを放熱することが困難になり、ブレーキ装置付近の温度を上昇させます。したがって先にお書きした、「フェード現象」や「ベーパーロック現象」が起きやすくなります。くれぐれもスピードは控えめに運転してください。

お知らせ この度、国際サービスシステムではホームページを開設いたしました。メンテナンスニュースもVOL.1から掲載されています。是非1度アクセスしてみてください。アドレスは <http://www.kokusai-s.co.jp> です。

ご不明な点、分からない事等ありましたら是非ご相談ください。